

化石教室

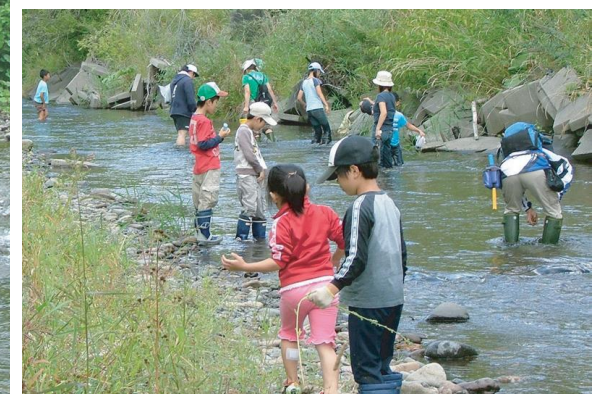
あしよろ化石教室 にぎやかでした

「あしよろ化石教室」は、自然とのふれあいをめざして、幼児をふくむ家族での参加もできる企画として開館以来つづけてきました。今年度は、5月から9月にかけて**4回の教室を実施し、228名の参加者**がありました。

- 第1回 シャチの骨格を掘りだしました。化石ではありませんが、「大型化石発掘」の気分を十分に味わうことができました。
- 第2回 白糠町にでかけ、3000万年前の貝化石を掘りました。
- 第3回 足寄動物群のふるさと茂螺灣でベヘモトプスなどが埋まっていた世界でここだけの地層、シオワツカでは炭酸カルシウム結晶の世界でここだけの形成を観察し、螺灣で500万年前の古十勝灣にたまった地層から貝化石を探しました。
- 第4回 あしよろ化石教室としては初めて十勝平野に進出し、土幌町下居辺で150万年前の貝化石を採った後、川原で十勝石さがしをしました。



にぎやかでした
化石さがしも（左）
十勝石さがしも（下）



シヤチの骨格標本 仕上げの作業に 沈着した鉄分の除去を中心に

2005年2月、羅臼町の海岸で流氷にとじ込められて集団死したシヤチ。この事件をきっかけに北海道周辺のシヤチについて関心がたかまり、当館でも来年度の公開をめざしています。

当館でもらったメス1頭は、「土」に埋めて骨格標本にし、5月の化石教室で掘りだしました。その後、骨を洗ったのこったカビなどの有機物を取り除いてきました。ところが、乾燥させてみると骨の表面の茶色の色素沈着が目立つようになりました。茶色の原因は、土に含まれていた鉄分だと考えています。

これから薬品をつかって「骨色の骨格」に仕上げる作業にはいります。



仕上げ途中のシヤチの背骨

有機物を取り除く薬品と鉄分を溶かす薬品との2回の処理を経てきれいな骨格になります

出前講座

旭町高齢者ふれあいクラブで「足寄の土地のなりたち」

お元気な高齢者があつまって活発な活動を展開している旭町高齢者ふれあいクラブ。今年度は、役場の各部門から講師を招いての出前講座を開催しています。10月は博物館学芸員（澤村）による「地表から見た足寄町」。

○町の半分以上を占めるいわゆる火山灰は、喜登牛山あたりから300万年前ころ噴出した火砕流。

○足寄で最古の石は、上足寄・螺湾・上稲牛にある赤い石（石材では川上石の名がある）で2億年前のチャートや石灰岩。付近には緑色の海底火山の溶岩もある。

○多くの人暮らし足寄市街地の平らな土地は数万年前には利別川の川原だった。など、ふだんの生活感覚から離れた大地の話に、みなさん興味津々でした。

※出前講座は、自治会の会合など、町民の集まる所、どこにでもかけます。講師がいるかぎり内容はなんでもあり。・・・お気軽に問い合わせてください。

休館日 || 11月 6日 13日 20日 27日 の火曜日

博物館の動き 10~11月（館の行事や職員の動き、来館団体、など）

10月 30日	下音更小学校のみなさん	道東3管内博物館交流推進会議
31日	管内高等学校PTA校長研修会	十勝管内博物館学芸職員等協議会合同研修会
11月 5日	阿寒湖小学校理科授業支援 厚岸町6小学校のみなさん	
10日	道東3管内博物館交流会議 （帯広百年記念館、14：00～）	講演「北海道のゾウ化石」 講師北海道開拓記念館 添田雄二 学芸員
14日～	音更小学校のみなさん	氷河時代の北海道で、ナウマンゾウとマンモスゾウはどう生活したか、どのようにすみ分けたか・・・など、最新の調査結果を含めて紹介されます。
16日	3クラス	
17日	更別村学童保育所のみなさん	
19日	鈴蘭小学校のみなさん	
28日	下士幌小学校のみなさん	参加自由です。問い合わせは博物館まで。